

対象年度	H16	作成部課室	教育庁生涯学習課	関係部課室	
------	-----	-------	----------	-------	--

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	3-7-2	政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実
------	-------	-----	--------------------

政策概要	県民のだれもが、いつでも、主体的、自発的に学ぶことができ、生涯にわたって、自分を磨き、自己を充実させ、豊かで生きがいのある生活を送ることができるような環境づくりを目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標
1	多様なニーズに対応した学習機会の提供 県民のだれもが、主体的・自発的に学ぶことができる、多様な学習機会の提供を目指します。	・みやぎ県民大学受講者数(累計) ・公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)
2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成 地域の学習グループの相談に応じたり、様々な学習機会を企画立案できる人材やNPOなどの発掘・育成を目指します。	
3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化 生涯学習に関わる様々な機関や団体が、それぞれの役割や特性を踏まえ、相互に連携・協力して適切な生涯学習事業が進められるように、行政、大学等、関係機関・団体のネットワーク化を推進します。	
4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実 人々の学習の場としての機能にとどまらず、交流の場や情報センター、地域づくりの場としての機能を果たす、生涯学習関連施設の整備・充実を目指します。	
5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実 それぞれの地域、家庭に居ながらにして、容易に生涯学習に関する情報を得られるように、様々な情報提供システムの充実を目指します。	

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	70	70	70	70	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	10 【中】	10 【中】	10 【中】	10 【中】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・各施策の概要は上記記載のとおりであり、政策を実現するためには5施策全てが必要。</p> <p>【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・施策の重複・矛盾点は無し。</p> <p>A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・全ての施策のかい離度が10点と「中」ではあるが、重視度は全て70点であり、期待値がある程度高いことを示しており、施策の入れ替えの必要性は認められないことから、施策群としては概ね適切である。</p>
---

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括	
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか( )				
1	第4回	26.4%	2位	・本施策の優先度は5施策中2位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・少子・高齢化社会の進行,価値観やライフスタイルの多様化などに対応するためにも,広域かつ多様な学習機会を提供する必要性は大きい。 ・市町村、学識者においては優先度1位。	大
	第3回	26.7%	2位			
	第2回	24.6%	2位			
2		20.8%	3位	・本施策の優先度は5施策中3位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・県内の各地域において,大差なく,多様な学習機会が設けられるためには,地域において生涯学習の振興を支える人や団体が必要であり,そのためにも本施策は必要である。	大
		22.6%	3位			
		22.1%	3位			
3		6.2%	5位	・本施策の優先度は5施策中5位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じていない	・各種事業を効果的に実施し,生涯学習を振興させていくためには,今後欠かせない施策である。	中
		6.3%	5位			
		6.3%	5位			
4		31.1%	1位	・本施策の優先度は5施策中1位である。 ・本施策のかい離は15点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・高齢者やNPOをはじめとし,県民にとっては,生涯学習を行なうに当たって,活動の場の確保は重要であることから,必要な施策である。	中
		28.7%	1位			
		29.7%	1位			
5		14.2%	4位	・本施策の優先度は5施策中4位である。 ・本施策のかい離は20点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・高齢化の進展に伴い,生涯学習の推進を図る環境づくりにおいては,情報の発信及び収集のシステムの整備は重要である。	中
		14.9%	4位			
		16.2%	4位			

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 適切  
 ・2指標ともに適切であり,今後も継続する。「政策評価指標分析カード」から

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切  
 ・必要性を「大」とした施策には指標が設定されており,適切である。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1						
政策評価指標達成度	おおむね有効	おおむね有効						
県民満足度	おおむね有効	おおむね有効						
社会経済情勢	該当なし	該当なし						
全体	おおむね有効	おおむね有効						

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・当該政策に関し,施策群設定の妥当性(A-1),政策評価指標群の妥当性(A-2),施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果,「おおむね適切」と判断する。

対象年度 H16

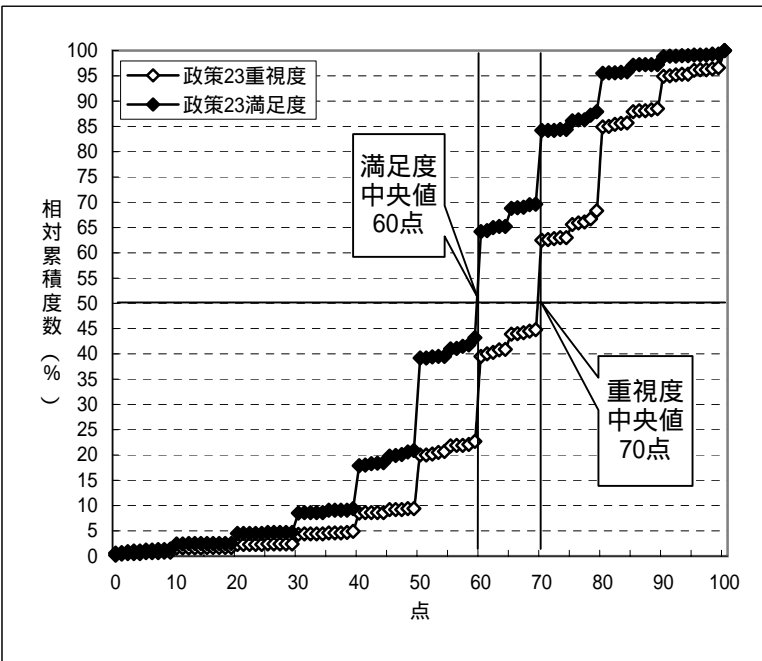
政策番号 3-7-2

政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 62.0

高認知度 59.9



**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

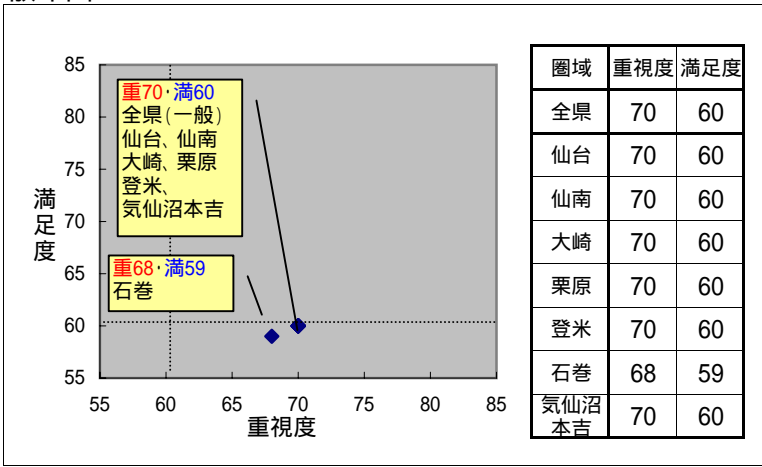
**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**基本統計量**

全県

項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	70	75	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	55
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	7.5

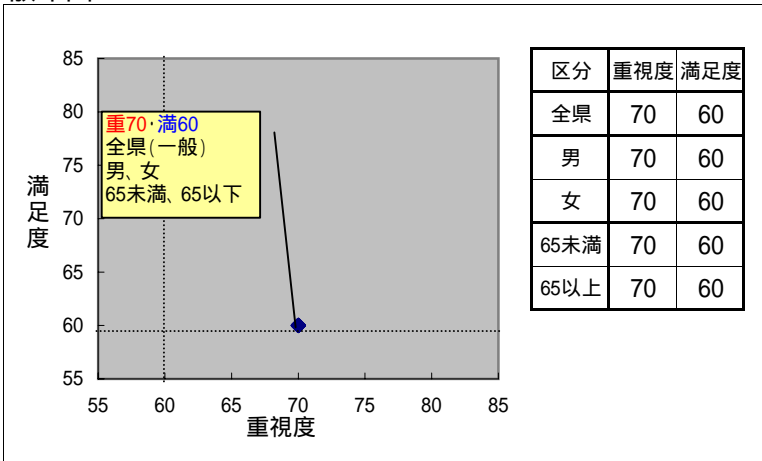
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	70	70	-	60	60	-
仙南	70	70	-	60	60	-
大崎	70	70	-	60	60	-
栗原	70	76.5	-	60	60	-
登米	70	70	-	60	60	-
石巻	68	70	-	59	60	-
気仙沼本吉	70	70	-	60	60	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	70	-	-	60	-	-
女	70	-	-	60	-	-
65未満	70	-	-	60	-	-
65以上	70	-	-	60	-	-

対象年度 H16

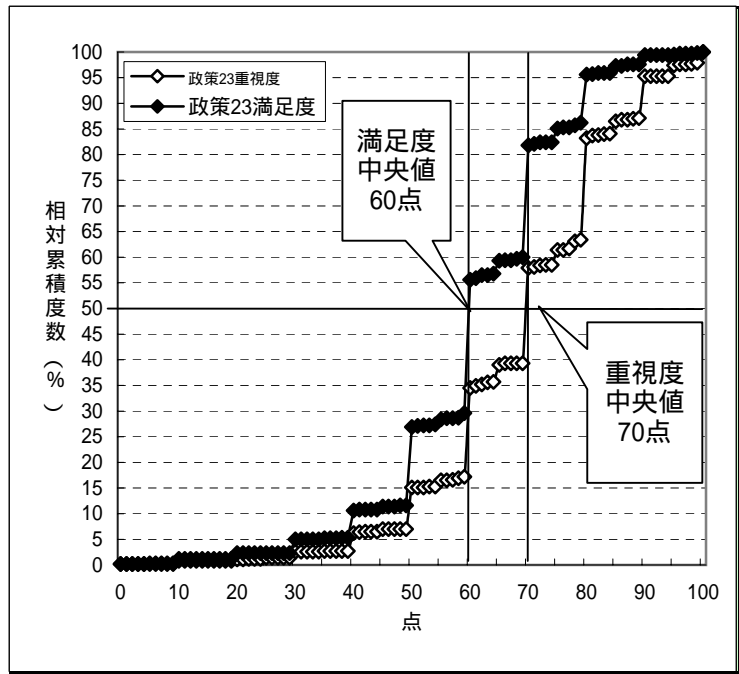
政策番号 3-7-2

政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

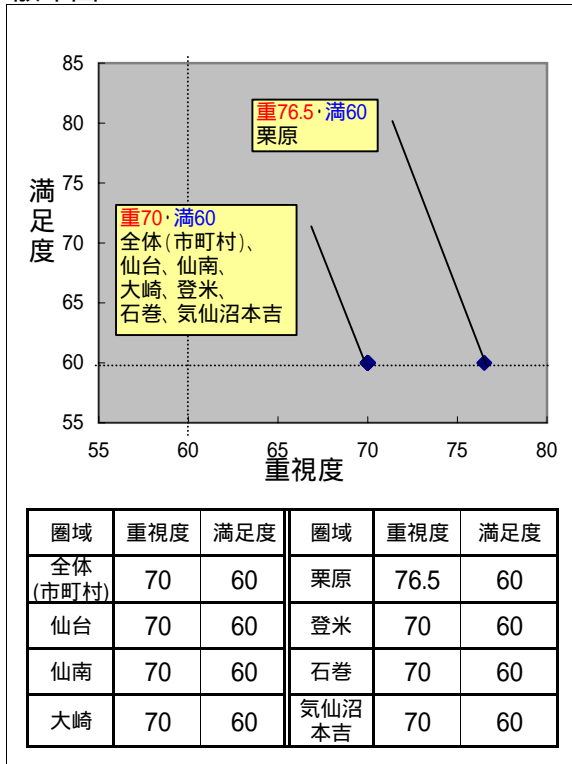
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 72.2

高認知度 81.4



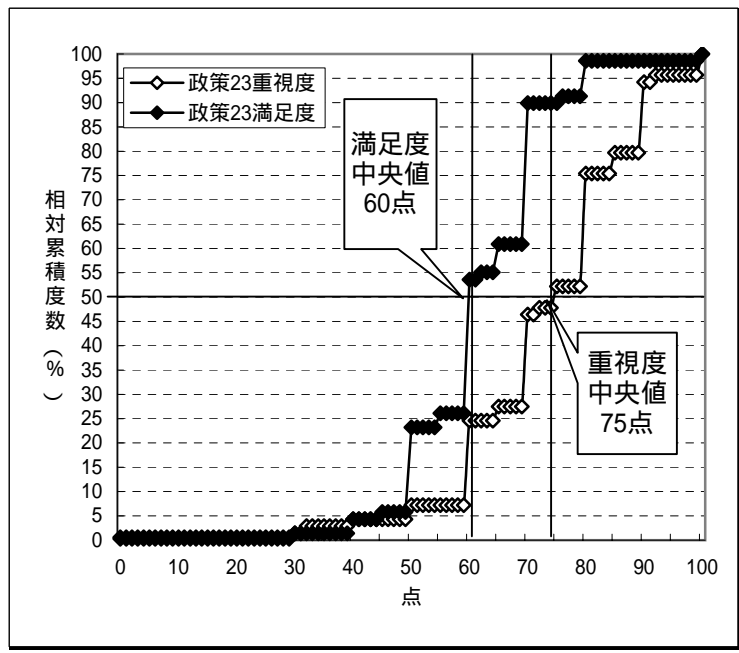
散布図



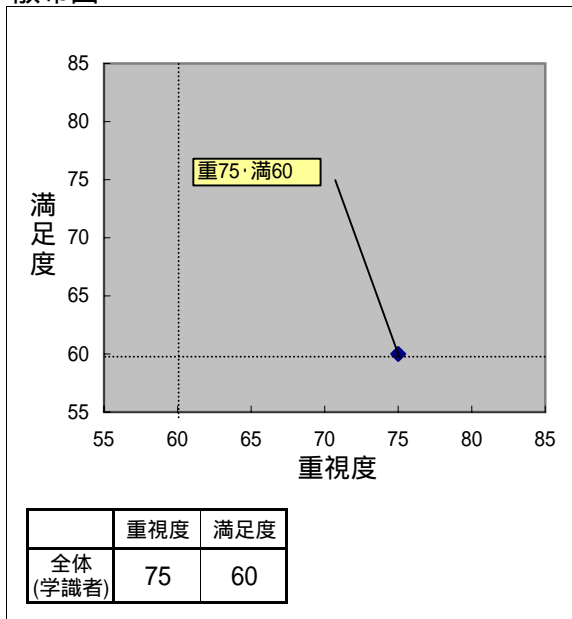
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 87.1

高認知度 85.7



散布図

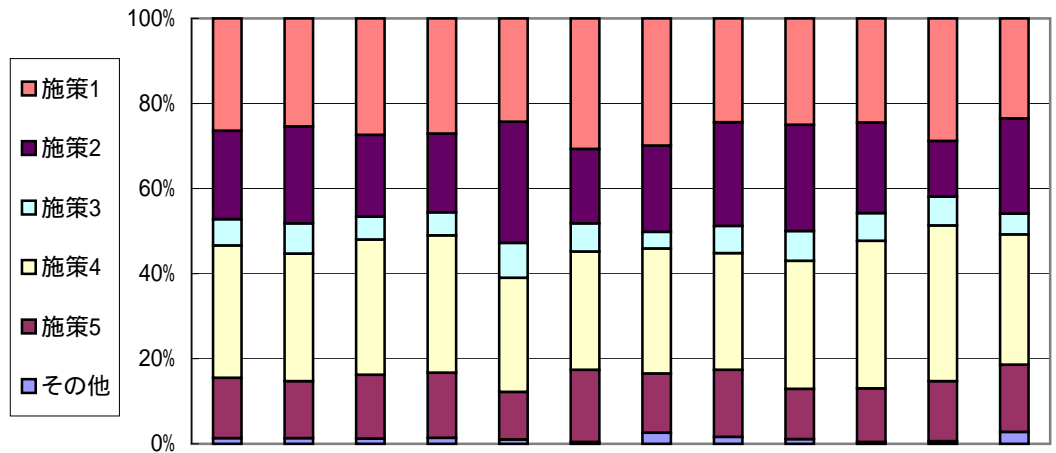


対象年度 H16

政策番号 3-7-2

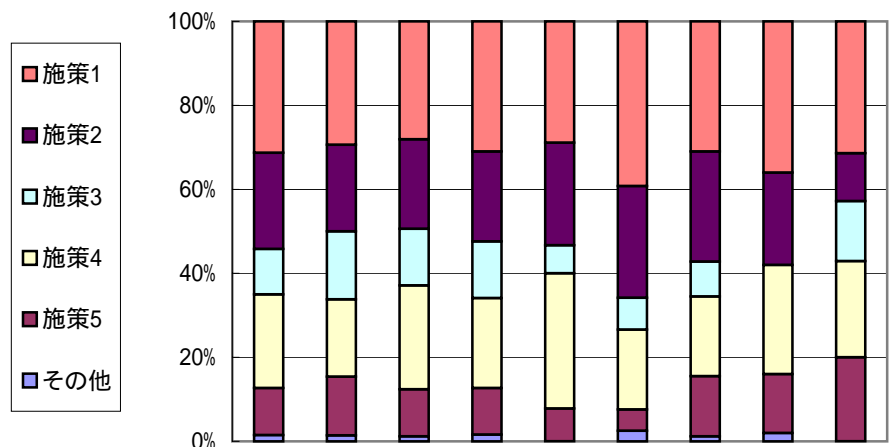
政策名 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	多様なニーズに対応した学習機会の提供	26.4	25.4	27.4	27.1	24.3	30.7	29.9	24.4	25.0	24.5	28.8	23.5
施策2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	20.8	22.8	19.2	18.5	28.5	17.5	20.3	24.4	25.0	21.3	13.1	22.4
施策3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化	6.2	7.1	5.4	5.4	8.2	6.6	3.9	6.4	7.0	6.5	6.8	4.9
施策4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	31.1	30.0	31.8	32.3	26.8	27.8	29.4	27.4	30.1	34.7	36.6	30.6
施策5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	14.2	13.4	15.0	15.3	11.2	17.0	13.9	15.8	11.8	12.6	14.1	15.8
	その他	1.3	1.3	1.2	1.4	1.0	0.4	2.6	1.6	1.1	0.4	0.6	2.8

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度							学識者優先度	
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻		気仙沼 本吉
施策1	多様なニーズに対応した学習機会の提供	31.3	29.4	28.1	31.0	28.9	39.2	31.0	36.0	31.4
施策2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成	22.9	20.6	21.3	21.4	24.4	26.6	26.2	22.0	11.4
施策3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化	10.8	16.2	13.5	13.5	6.7	7.6	8.3	0.0	14.3
施策4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	22.3	18.4	24.7	21.4	32.2	19.0	19.0	26.0	22.9
施策5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実	11.2	14.0	11.2	11.1	7.8	5.1	14.3	14.0	20.0
	その他	1.5	1.4	1.2	1.6	0.0	2.5	1.2	2.0	0.0